

愛知県感染症情報

平成 14 年第 26 週（6 月第 4 週）

< コメント >

手足口病^{*1}、ヘルパンギナ^{*2}は 6～7 月にかけて流行の山がみられる [夏のウイルス感染症](#)です。今週も報告数が多い状態で推移していますので注意して下さい。定点の先生方からのコメント上ではヘルパンギナ、無菌性髄膜炎^{*3}の発生報告が多くみられます。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎^{*4}の報告数も多い状態で推移しています。

麻疹（はしか）の定点当たりの報告数は 0.19（先週 0.32）と減少傾向にありますが、引き続き注意して下さい。

溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、麻疹の予防方法及びグラフ総覧については、[愛知県衛生研究所のホームページ](#)

（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>）をご覧ください。

*1 手足口病：夏かぜウイルスの飛沫、経口、水疱からの感染。口の中、手や足の先の水疱性発疹

*2 ヘルパンギナ：夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍。

*3 無菌性髄膜炎：細菌以外のウイルス等による髄膜炎のこと

*4 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎：おでき、扁桃炎、中耳炎などの化膿性疾患。リウマチ熱等の原因ともなる。

< 定点の先生方からのコメント >

● 尾張西部地区

- ・ O1 5 歳女、O25 3 歳女、6 歳男

O124 34 歳女、O18 12 歳男

理学的所見からは、初日ヘルパンギナ、あるいは軽度咽頭発赤であるが、第 2 日には、CRP > 7.0、WBC 1 万以上、40 の高熱という方が何人かみえて、背部痛、頭痛といった髄膜炎を疑わせる症状を訴えており、エンテロウイルスの特徴を示している様に思われます。

（尾西市 城後小児科）

- ・ O1（1 歳女、2 歳女）、O18（3 歳男、3 歳男）、O126（1 歳男）

（犬山市 武内医院）

- ・ 無菌性髄膜炎 続出 3 歳～40 歳まであり、3 歳～10 歳が中心。

風疹らしき例最近はじめてみました。

（岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック）

- ・ 溶連菌感染症、水痘の流行が続いています。
手足口病、ヘルパンギナ少数ですが認められています。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- ・ 気管支肺炎 10 ヶ月女
(稲沢市 医療法人野村整形外科)
- ・ 34 歳女 病原大腸菌 O25 検出
9 歳男 EB ウイルス感染症
(春日町 丹羽医院)
- ・ マイコプラズマ肺炎 家庭内感染
8 歳男、6 歳男、4 歳男、2 歳男 (入院)
(師勝町 田中クリニック)

● 尾張東部地区

- ・ 手足口病は流行中。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
- ・ 手足口病流行続いています。
溶連菌感染症が再び増加してきました。
ヘルパンギナも少し目立ってきたようです。
その他、マイコプラズマ感染症もまだ見られます。
無菌性髄膜炎 5 歳男
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
- ・ 麻疹流行の心配で、ワクチン接種状況をみると未接種が割合多い。
(豊明市 豊明団地診療所)
- ・ 30 歳 梅毒
(東郷町 医療法人バク諸輪診療所)
- ・ 水痘 散発
(南知多町 医療法人大岩医院)
- ・ 手足口病が流行しています。5 歳男溶連菌感染症もありました。
(春日井市、かちがわ北病院)
- ・ カンピロバクタ - 腸炎 1 例 (公園の砂で感染)
(春日井市、朝宮こどもクリニック)
- ・ 髄膜炎が多い様です。
(小牧市 医療法人心正会鈴木小児科)
- ・ 無菌性髄膜炎流行中、ヘルパンギナ増加
(小牧市 小牧市民病院)
- ・ M C L S (川崎病) 1 例
(小牧市 志水こどもクリニック)

- ・ 発熱、頭痛、嘔吐 夏カゼによる髄膜炎あり。
手足口病、ヘルパンギ - ナ小流行
(東海市 小児科ハヤカワ医院)

● 西三河地区

- ・ サルモネラ腸炎 (*Salmonella* O8) 1 歳女
病原大腸菌 O1 1 歳女、髄膜炎 6 歳男
マイコプラズマ感染症 3 歳男
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
- ・ 水痘、手足口病、ムンプス、まだ流行っている。
(豊田市 医療法人やふそ小児科)
- ・ 1 歳男 帯状疱疹、2 歳男 カンピロバクター -
2 歳男、3 歳男 病原性大腸菌 O25 VT (-)
(岡崎市 花田こどもクリニック)
- ・ 10 歳男、11 歳男、11 ヶ月女 カンピロバクター
5 歳女 病原性大腸菌 O25 VT (-)
4 歳女 病原性大腸菌 O6 VT (-)
(岡崎市 にいのみ小児科)
- ・ 1 歳女 病原性大腸菌 O15、1 歳女 病原性大腸菌 O25
(岡崎市 医療法人川島小児科水野医院)
- ・ 1 歳男 伝染性単核球症
(幸田町 とみた小児科)
- ・ 幼児を中心に嘔吐下痢症目立ちます。
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ ムンプスと思い抗体検査する。
1 人目 H1 < ×8 、2 人目 IgG (EIA) 陰性
(西尾市 こどもクリニック宮地医院)
- ・ ヘルパンギ - ナ流行
(西尾市 やすい小児科)
- ・ 水痘、ムンプスがまだ流行中です。
(三好町 三好町立三好病院)

● 東三河地区

- ・ 渥美町における溶連菌感染症の流行が続いています。
(田原町 かわせ小児科)

< 1～3 類感染症の発生状況 >

● 腸管出血性大腸菌感染症

- ・ 豊橋市保健所から報告の 73 歳男。6/18 発病、6/19 初診、6/25 診定。菌型は 0157 VT2 (++)
- ・ 豊橋市保健所から報告の 9 ヲ月歳男。6/16 発病、6/26 初診、6/28 診定。菌型は 0157 VT2 (+)
- ・ 豊橋市保健所から報告の 32 歳男。6/21 発病、6/26 初診、6/28 診定。菌型は 0157 VT2 (+)
- ・ 豊橋市保健所から報告の 33 歳男。6/21 発病、6/26 初診、6/28 診定。菌型は 0157 VT2 (+)

< 全数把握の 4 類感染症の発生状況 >

報告はありません。

第 24 週 (14 年 6 月 10 日～6 月 16 日) の 4 類感染症の全国状況

水痘の定点当たり報告数は過去 5 年間の同時期と比べてやや多く、都道府県別では山形県 (5.6)、福島県 (5.5) などが多くなっている。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は急速に増加して例年の報告数を上回っており、都道府県別では高知県 (2.3)、福井県 (2.0) からの報告数が多い。他の疾患の定点当たり報告数は過去 5 年間の同時期と比べて特別多くなっているはいない。しかし、ヘルパンギナの定点当たり報告数は引き続き増加しつつあり、都道府県別では新潟県 (5.1)、宮崎県 (4.5)、鳥取県 (3.6) などからの報告が多い。咽頭結膜熱および手足口病の定点当たり報告数もゆっくりと増加しつつある。インフルエンザの定点当たり報告数は減少し、例年並に戻っているが、都道府県別では沖縄県 (3.7)、岩手県 (1.6) からの報告数が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少しているが、都道府県別では宮城県 (7.3)、宮崎県 (6.5) からの報告数が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週より減少したが、都道府県別では岩手県 (4.3) が多くなっている。麻疹の定点当たり報告数は全体としては例年より低い水準を保っているが、都道府県別では青森県 (0.7)、岐阜県 (0.7) からの報告が多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センタ - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センタ - のホームページ
(<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

病棟の詰所に七夕飾りを看護婦さん達が患者さんと一緒にならべる季節となりました。飾りを欲しがって泣く子がいたり作るのを嫌がる子がいたり、例年のように賑やかです。いつも貴重な情報を有難うございます。6月前半・後半のまとめをお送りします。

1。名古屋地区：相変わらず麻疹が全市的に流行中で、肺炎合併例や要入院例が目立っています。（名鉄病院宮津先生：病棟のやりくりで苦労しています、第一日赤有吉先生、城北病院渡辺先生、第二日赤岩佐先生、千種区今枝先生、中京病院柴田先生、労災病院山田先生、大同病院水野先生）。ワクチン未接種児ばかりで年長児もいます。他に第一日赤有吉先生、城北・渡辺先生第二日赤岩佐先生からは無菌性髄膜炎、急性胃腸炎、有吉先生と渡辺先生からは溶連菌感染症と火傷様皮膚症候群、膿痂疹、城北病院渡辺先生からは高熱の感冒とヘルパンギナ、肺炎、千種区今枝先生からは感染性胃腸炎と手足口病、発熱の感冒散発、三菱・岩間先生からは溶連感染症、ヘルパンギナ、扁桃腺炎＋頸部リンパ腺炎、気管支肺炎、中京・柴田先生からは手足口病と火傷様皮膚症候群増加中、労災・山田先生からは溶連感染症多発、麻疹、伝染性紅斑、ヘルペ大同・水野先生からは麻疹、ヘルパンギナの流行が目立ち手足口病が保育所単位で発生し乳児の気管支肺炎が目立つとのお手紙でした。

2。尾張地区：犬山市武内先生からは溶連感染症、感染性胃腸炎が多発中、手足口病、ヘルパンギナ、ムンプスが散発中、江南市では溶連感染症とムンプス、マイコプラズマ感染症が目立ち、岩倉市を中心に無菌性髄膜炎が流行（昭和病院西村先生、愛北病院露木先生）、常滑市民病院上田先生からは無菌性髄膜炎、麻疹、ムンプス、水痘、細菌性胃腸炎、ウイルス性胃腸炎（脱水による入院あり）、アデノウイルス感染症が目立ちウイルス性腸炎による脱水で入院する例が目立つとのお手紙です。

3。三河地区：トヨタ病院木戸先生からは夏カゼが増加、麻疹と無菌性髄膜炎の入院は相変わらず目立つ、加茂病院梶田先生からはムンプスと水痘の散発と無菌性髄膜炎、肺炎の入院が目立つ、岡崎市民病院滝本・近藤先生からはアデノウイルス感染症と水痘が増加、麻疹散発中で要入院例あり、知立市近藤先生からは水痘、溶連菌感染症、ヘル

パンギ - ナ (> 手足口病)、カンピロ腸炎、刈谷市田和先生からは麻疹 2 例 (ワクチン未接種)、手足口病多発、ヘルパンギ - ナと胃腸炎散発、マイコプラズマ肺炎あり、碧南市永井先生からは嘔吐下痢症増加、手足口病とペルパンギ - ナ散発、豊橋市宮澤先生からは水痘、伝染性紅斑、カンピロバクタ - 腸炎の少数例ありとのお手紙でした。有難うございました。

平成 1 4 年 7 月 4 日

W H O 疫学週報抜粋抄訳

愛知県衛生研究所企画情報部 (文責 磯村)

2 0 0 2 年 5 月 2 4 日号 (7 7 巻 2 1 号)

風疹と先天性風疹症候群対策強化：ブラジル。9 2 年、年少児を対象とした M M R ・三混 / M R 二混導入以来ブラジルにおける接種率の上昇と共にそれまで 1 歳未満であった風疹の罹患年齢の中心が 1 - 9 歳となり年長児の罹患、さらに先天性風疹症候群の増加が危惧されている。9 8 年 - 0 0 年のサンパウロ等における風疹流行は 2 0 - 2 9 歳であり、9 7 年 - 0 0 年の先天性風疹届出数は 8 7 6 例 (確定 1 3 2 例) であった。今後の風疹対策強化の第一期として住民の妊娠状況とワクチン接種対象者数の把握、接種計画立案、社会教育と接種参加の動機づけ、接種の実際の方法 (移動車、戸別訪問)、監視と評価、ワクチンの安全性、等が重要であり、予備調査段階では接種率 9 3 % となっている。対策強化第二期ではさらに接種数を増加する予定 (0 1 年の州別接種率は 8 0 - 9 5 %、全国で 9 0 % となっている)。

インフルエンザ (0 2 年 5 月)。オ - ストラリア：A 型、前回 1 月の流行は B 型。ニュ - カレドニア：A 型。米合衆国：全国的に流行は下火。肺炎による死亡数も減少。A 型では (H 3 N 2) 主体。B 型が増加中。

5 月 1 7 日 - 2 3 日届出。コレラ：マラウィ、ソマリア、南アフリカ、ウガンダ、インド。

2 0 0 2 年 5 月 3 1 日号 (7 7 巻 2 2 号)

リンパ系フィラリア症。地球規模の撲滅に関する第二回会議：5 月 2 - 3 日、インド政府が主催してデリ - で開催。常在地区 2 4 カ国が参加、ブルキナ・ファソとインドにおける取組が貧困対策と組合せて報告され、4 グル - プで討論が行なわれた。国の施策としての撲滅運動、貧困対策と開発支持、国際協力。

インフルエンザ。専門家会議協議事項（グローバル・アジェンダ）のまとめ：専門家会議が５月６－７日にＷＨＯで開催された。　０１年１１月に発足してから採択されるまでの経過。　アジェンダの必要性と目的：地球規模のインフルエンザ対策。　採択されたアジェンダの内容：　サ－ベイランス強化、　インフルエンザの重要性に関する知識普及、　ワクチン接種増加。

インフルエンザ（０２年５月）。オ－ストラリア：Ａ型とＢ型の混合流行。散発。香港：減少傾向であるがＡ（Ｈ３Ｎ２）＞Ｂ型ウイルスが相変わらず分離されている。ニュ－カレドニア：Ｂ型散発。パラグアイ：Ａ型とＢ型の散発。

５月２４日－３０日届出。コレラ：ベニン、マラウイ、香港（輸入例）シンガポ－ル（輸入例）、ペスト：マラウイ。

愛知県感染症情報

2002年第26週 (平成14年6月24日～6月30日)

愛知県衛生研究所

		定点数																									
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	S T D	基幹	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
愛知県 (名古屋市を含む)		191	182	35	51	13	0	23	234	515	253	393	68	167	1	4	473	35	171	2	11	0	0	2	2	0	
総数 (名古屋市は除く)		121	112	24	37	12	0	10	178	335	207	236	43	136	1	3	408	21	129	2	8	0	0	2	2	0	
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1		13	56	180	46	157	25	31		1	65	14	42		3						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1			24	32	17	45	1	7			8	3	13								
海部	津島	7	7	2	2	1			3	21	10	3	5	8		1	45		4		1						
尾張中部	師勝	4	4	1	1					36	3	3		5			8	1		1							
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1			17	47	12	14		13			22	2	11								
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1			14	13	24	24		13			16	2	7		1						
	江南	6	6	1	2				27	34	12	8	1	2		1	7		3		1						
知多半島	半田	6	6	1	2	1			6	6	18	7	15	4			8		11								
	知多	7	7	2	2			4	2	20	11	35	1	13			46	2	5								
西三河南部	岡崎	12	8	2	3	1		2	15	12	29	24	2	20	1		53	1	22								
	衣浦東部	11	11	2	4	1			12	19	25	15	4	18			52	2	5		2						
	西尾	4	4	1	1	1		3	4	2	9	3	1	3		1	25	1	4								
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1		1	4	10	13	17	1	6			27	2	13		2			2	1		
	加茂	3	3		1				3	9	9	10		2			2	1	8								
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1			24	42	8	8	5	7			46	3	8		1				1		
	豊川	9	8	1	2	1			23	32	7	17	6	15			41		11	1							
東三河北部	新城	2	2			1						3	1				2	1	4								

愛知県感染症情報

2002年第26週 (平成14年6月24日～6月30日)

愛知県衛生研究所

[illegible]

愛知県感染症情報

2002年第1週～第26週(平成13年12月31日～平成14年6月30日)(累計)

愛知県衛生研究所

		定点数																									
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	S T D	基幹	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
愛知県 (名古屋市を含む)		191	182	35	51	13	35,687	229	4,215	22,440	7,692	2,089	1,317	3,100	38	85	1,946	1,891	5,227	11	543	0	2	2	51	1	20
総数 (名古屋市は除く)		121	112	24	37	12	28,054	160	2,976	15,065	5,754	1,380	1,011	2,368	23	61	1,688	1,495	4,324	8	384	0	2	2	51	1	20
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	7,633	69	1,239	7,375	1,938	709	306	732	15	24	258	396	903	3	159						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,301	34	424	1,009	355	288	20	128		6	40	76	289	1	12						
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1,229	3	49	1,022	337	37	80	105	1	7	113	67	239	1	22				2		
尾張中部	師勝	4	4	1	1		794		15	1,140	98	26	17	51		6	37	29	17	1	12						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,068		354	2,214	652	121	66	290	3	3	76	215	254	1	22						
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	1,955	5	342	762	704	135	128	196	3	6	44	124	181		23		1		1		4
	江南	6	6	1	2		1,780	36	311	1,413	371	48	87	62	1	4	26	65	174		17						
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,319	12	88	475	213	41	162	105		2	12	130	164		10				1		12
	知多	7	7	2	2		2,383	22	90	895	366	147	68	189	3	7	165	219	183		7						
西三河南部	岡崎	12	8	2	3	1	2,984	8	321	97	708	150	105	354	4	2	226	66	662		110						
	衣浦東部	11	11	2	4	1	3,474	3	252	979	584	83	74	223	2	7	204	191	214	1	16				1		
	西尾	4	4	1	1	1	281	4	54	450	180	7	9	51		3	53	17	99	1	52				1		3
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	1,416	14	122	817	296	112	53	155	4	5	93	91	522		28			2	17		
	加茂	3	3		1		366		23	270	84	41	9	57			4	37	170								
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	3,013	11	372	1,975	465	63	58	231		1	314	69	670	1	53		1		22		
	豊川	9	8	1	2	1	2,557	8	158	1,547	297	73	74	167	2	1	274	91	417	1					6	1	1
東三河北部	新城	2	2			1	134		1		44	8	1	4		1	7	8	69								

愛知県感染症情報

2002年第1週～第26週(平成13年12月31日～平成14年6月30日)(累計)

愛知県衛生研究所

[illegible]